

HD革命[®] ウィンプロテクター **Win Protector**

Windows 環境復元ソフト

再起動・シャットダウンで元の状態に復元



HD革命/WinProtector

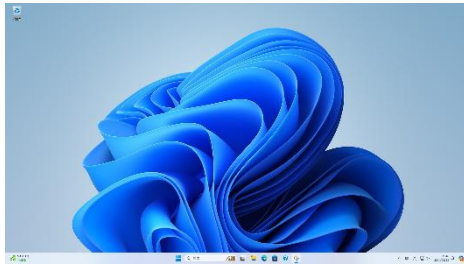
Standard / Plusオンプレミス版 / Plusクラウド版

製品紹介資料



再起動・シャットダウンのタイミングで利用中の操作を
予め設定した状態に戻す「環境復元ソフトウェア」です。

01 保護開始



維持したい環境

02 PC利用



高リスクな環境

03 再起動



元通りの環境

利用目的に合わせて、基本的な環境復元機能がご利用いただける「Standard版」、環境復元機能に加えて集中管理機能がご利用いただける「Plus オンプレミス版」「Plus クラウド版」の3つのラインナップからお選びいただけます。

POINT

- 不要なデータはPCに残さない
- PCは常にクリーンな状態を維持！
- 運用に合わせた3種のラインナップ

不特定多数が 利用するPC



- 学校のPC教室
- 塾の生徒が利用するPC
- インターネットカフェ、マンガ喫茶
- e-Sports PC
- ホテルの貸出PC
- 図書館、公共施設の貸出PC
- 展示コーナーのPC
- 病院の共有PC

様々な場所に 持ち出すPC



- テレワーク用PC
- お客様先で利用するPC
- 現場で利用するPC
- 企業・部内の共有PC
- 会議用の共有PC

POINT

- シーンに合わせて利用可能
- PCを紛失時、再起動・シャットダウンで元の状態へ戻るため端末にデータを残さない
- 操作も簡単で即リフレッシュ

3種類のラインナップからお選びいただけます。



Ver.11 Standard版

- ✓ 環境復元機能だけを使いたい
- ✓ コストを抑えたい
- ✓ オフライン環境で利用したい



Plus オンプレミス版

- ✓ 複数PCを閉域環境で一元管理
- ✓ PCのモニタリングをしたい
- ✓ デバイス制御も行いたい



Plus クラウド版

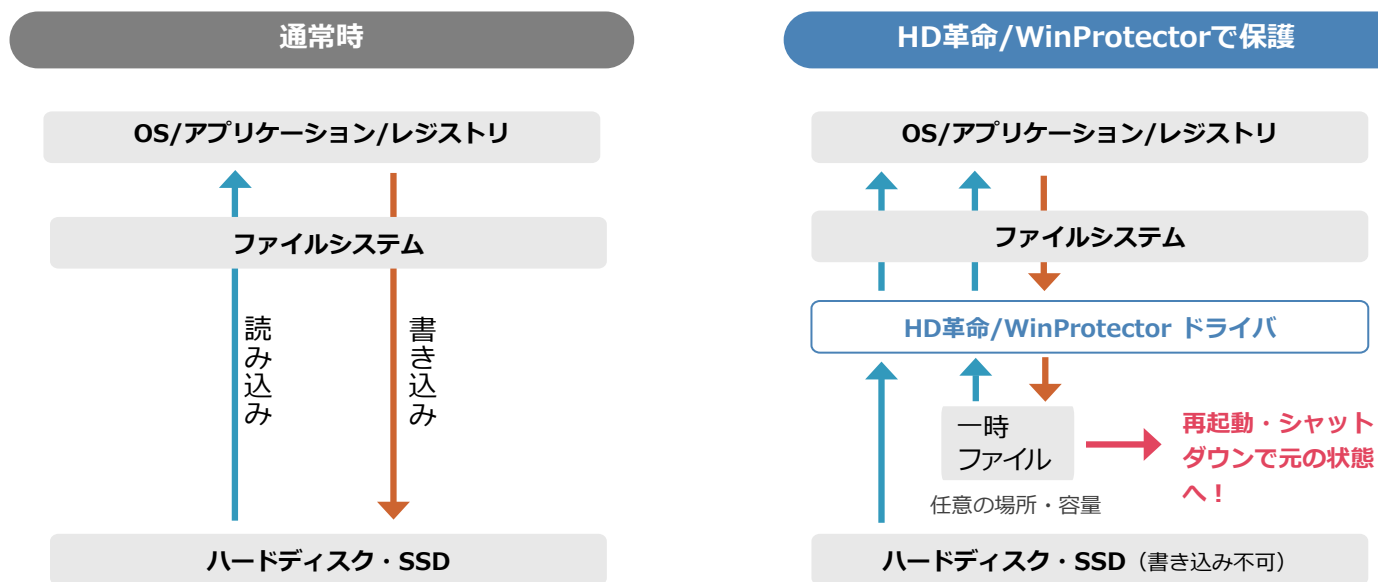
- ✓ サーバー管理不要で簡単に導入
- ✓ リモートワークで利用したい
- ✓ 複数PCをクラウド上で一元管理

価格体系	永続ライセンス 年次保守更新必須	永続ライセンス 年次保守更新必須	サブスクリプション
環境復元機能			
集中管理機能	—		
モニタリング機能	—		—
提供形態	オンプレミス	オンプレミス	SaaS

※各製品詳細比較についてはP24を参照ください。

任意のハードディスクドライブへの書き込みが行われないように制限します

PC使用時に通常ならドライブへ書き込まれるデータを、HD革命/WinProtectorが作成した領域「一時ファイル」に書き込みます。再起動・シャットダウン・保護解除のいずれかのタイミングで「一時ファイル」を破棄することで、保護中の操作を全て無効とし、保護を開始した状態に戻します。

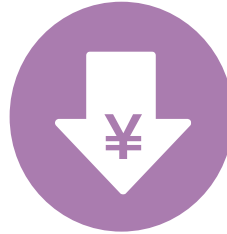


一時ファイルの保存先は、任意のメモリやハードディスクを指定することができます。同様に記憶する容量についても指定が可能です。また、一時ファイルの使用量が任意の値になると、メッセージやアラームでユーザーに通知することも可能です。

POINT 一時ファイル（仮想ドライブ）の容量は予め設定可能



一時ファイル領域の
暗号化に対応



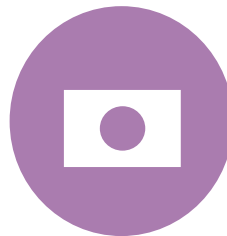
低コストなのに
高機能



Windows 大型Updateへ
素早い対応



PCの管理が
楽になる



国内開発でサポート充実
PCメーカー問わずサポート

NEW Arm版、4Knに対応！



最適な運用方法の
ご提案

HD革命/WinProtector

環境復元機能のご紹介

- 保護対象の選択
- 保護の除外設定
- 一時ファイル暗号化
- アップデート連携

対象製品

-Standard版

-Plus オンプレミス版

-Plus クラウド版

「ドライブ全体 と ファイル・フォルダー単位」で保護設定

「ドライブ全体を保護する（セクター方式）」「個別のファイル・フォルダーを保護する（ファイル方式）」を選択可能です。運用シーンにおける利便性が一層上がりました。

The screenshot shows the WinProtector settings interface. On the left is a sidebar with options like '保護設定' (Protection Settings), '表示設定' (Display Settings), 'アップデート連携' (Update Linkage), 'パスワード設定' (Password Settings), 'ユーザー設定' (User Settings), '例外処理' (Exception Handling), and '設定のインポート/エクスポート' (Import/Export Settings). The main area has '保護OFF' and '保護ON' buttons, with a message '保護OFFに設定されています。' (Set to Protection OFF). A '詳細設定' (Detailed Settings) button is highlighted.

The '詳細設定' (Detailed Settings) dialog box is open, showing two main options:

- ドライブ全体を保護する (Protect all drives)
- 個別のファイル、フォルダーを保護する (Protect individual files and folders)

Under the first option, a table lists drives:

ドライブ	容量	使用領域
<input checked="" type="checkbox"/> (C:)	172.056 GB	43.414 GB
<input type="checkbox"/> ボリューム(D:)	292.967 GB	7.846 GB

Under the second option, there is a list for '保護対象パス' (Protection target paths) with one entry: 'D:\ProtectTest\'. Below this are buttons for 'フォルダー追加' (Add folder), 'ファイル追加' (Add file), '特殊フォルダー追加' (Add special folder), and '削除' (Delete).

A callout box titled '特殊フォルダ追加一覧' (Special folder addition list) contains the following items:

- 3D オブジェクト
- ダウンロード
- デスクトップ
- ドキュメント
- ピクチャ
- ビデオ
- ミュージック
- アドレス帳
- お気に入り
- リンク
- 検索
- 保存したゲーム

At the bottom right of the dialog, there is a 'キャンセル' (Cancel) button.

POINT

- ドライブ全体を保護する場合、システム変更も戻すため、セキュリティ重視！
- 個別のファイル、フォルダーを保護する場合、特定の箇所のみ保護する為、運用重視！

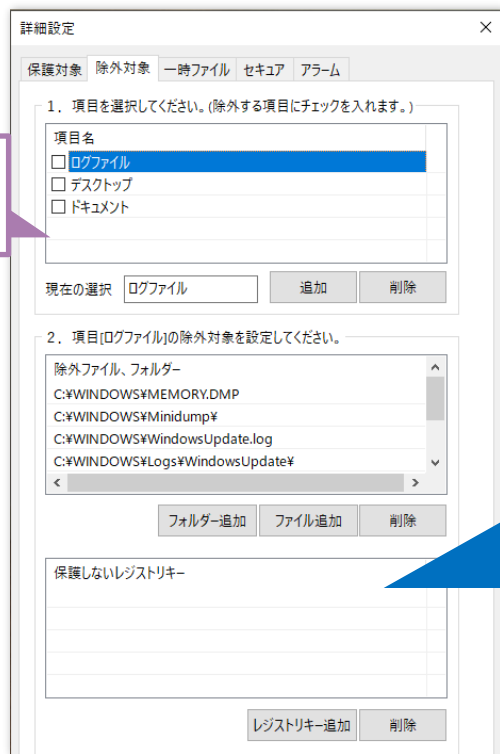
【注意事項】

※「ドライブ全体を保護する」設定の場合、保護対象のドライブには「一時ファイル」作成のため最低4GBの空き容量が必要です。不足するとOS起動時に保護開始ができません。

運用に合わせて保護の除外設定が可能

ドライブ内の任意のフォルダーを保護対象から除外することができます。除外フォルダー内では保護中でもファイルの更新や追加などが可能になります。複数のフォルダーをまとめて登録することもでき、フォルダー単位のほか、ファイル単位や、レジストリキーでの指定も可能です。

複数ドライブのフォルダー、ファイルをまとめて1項目として設定できます。



レジストリキー単位での除外設定



【注意事項】

- ※BitLockerにより暗号化されたディスクに対して保護を行う場合「除外対象」で除外する項目名を選択することはできません。
- ※「除外する項目の設定」は、個々のソフトウェアや特定の環境による動作を保証するものではありません。お客様自身による十分な確認と検証のもとでご利用ください。

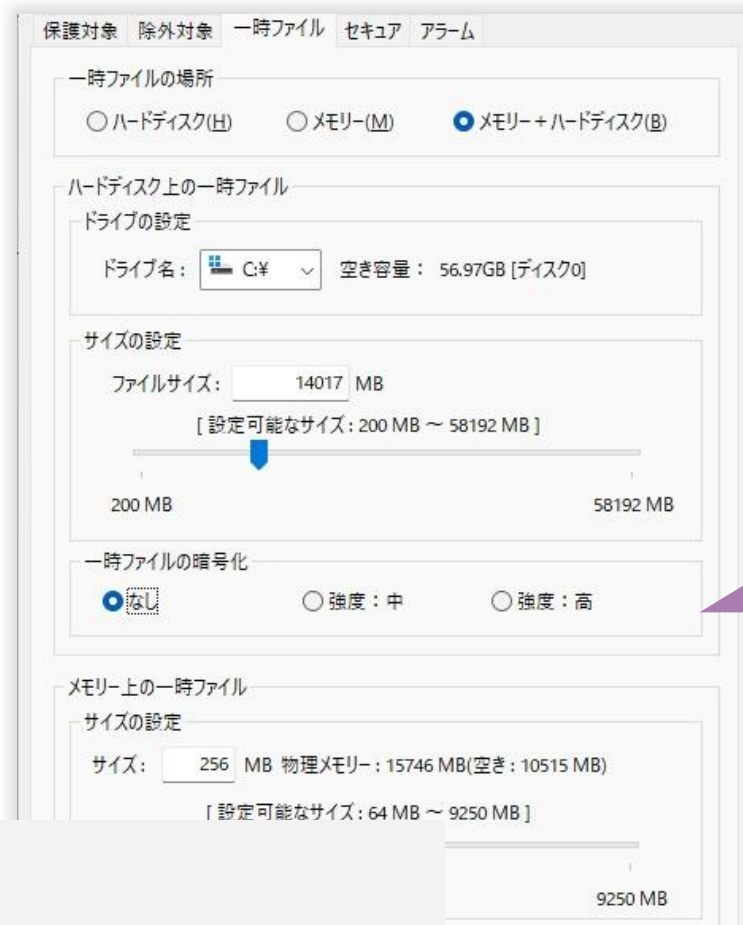
POINT

- アンチウイルスソフトのフォルダーを指定し除外することで、再起動をすることなく更新も可能
- 運用時のログファイルなどを直接指定して除外も可能

運用に合わせて保護の除外設定が可能

よりセキュアに運用いただくため、「一時ファイルの暗号化」ができるようになりました。

暗号化を行っても、再起動・シャットダウンで通常通り暗号化された一時ファイルを破棄します。



暗号化の種類は「なし」「強度：中」「強度：強」から選択できます。

【注意事項】

※個別のフォルダ・ファイルを選択した場合、一時ファイルは利用せず、端末の空き容量で稼働するため、一時ファイル・セキュア・アラームのタブは選択不可となります。

POINT

- 環境復元前でも一時ファイルを常に暗号化
- 暗号化強度選択で、PC起動速度をコントロール

Windows Update、アンチウイルスソフトウェアのアップデート連携

保護中でも、Windows Update や アンチウイルスソフトウェアと連携して、クライアントPCのアップデートを実施することが可能です。最新のセキュリティ環境でPCを利用できます。

スケジュール実行時に電源が入っていなかった場合には次回の起動時/ログオン時に開始するオプションや、シャットダウン時に実行など、運用に即した設定でアップデート連携が行えます。

「詳細」ではWindows Update 連携時のWSUSサーバー、プロキシサーバーの設定も可能です。

The image shows the Windows Update settings window with the 'Update Coordination' (アップデート連携) tab selected. The 'Windows Update settings' (Windows Update の設定) section has 'Perform Windows Update updates' (Windows Update の更新処理を行う(W)) checked. The 'Antivirus software settings' (アンチウイルスソフトウェアの設定) section has 'Perform updates for antivirus software' (アンチウイルスソフトウェアの更新処理を行う(V)) unchecked, and 'Software selection' (ソフトウェア選択) set to 'Trend Micro Biz/Corp.'. The 'Command settings' (コマンドの設定) section has 'Before update command' (連携前コマンド) and 'After update command' (連携後コマンド) both empty. The 'Execution timing' (実行するタイミング) section has 'Execute under management console' (管理コンソール下で実行する) selected. The 'Schedule' (スケジュール) section has 'Day' (曜日) set to 'Wednesday' (水曜日), 'Interval' (間隔) set to '1' week, 'Start date' (開始日) set to '2024/07/05', 'Start time' (開始時刻) set to '18:00', and 'Limit time' (制限時間) set to '2 hours'. The 'Update coordination after completion' (アップデート連携終了後) section has 'After update coordination, shut down' (アップデート連携終了後、シャットダウン(S)) checked, and 'Delay time' (遅延時間) set to '1' minute. The 'Administrator account' (アップデート連携を実行する管理者(Administrator)アカウントの設定) section has 'User name' (ユーザー名) empty. A 'Details' (詳細(D)) button is visible in the top right of the settings window.

The 'Windows Update Update Coordination Details' (Windows Update アップデート連携詳細) dialog box is open, showing the following settings:

- WSUS server to use (WSUSサーバーを使用する)
 - WSUS server (WSUSサーバ): 192.168.90.200
 - Statistics server (統計サーバ): 192.168.90.200
 - Note: Prefix must be http://, https:// with port number (※先頭が http://, https:// で始まるURLをポート番号付きで指定してください)
- Proxy server to use (プロキシサーバーを使用する(マイクロソフトのサーバーに接続する場合の))
 - Server (サーバ): [empty]
 - Port (ポート): 8080
 - User (ユーザー): [empty]
 - Password (パスワード): [empty]
- Update program types to apply (適用する更新プログラムの種類)
 - Important + optional (A) (重要 + オプション(A))
 - Important only (I) (重要のみ(I))
 - Follow WSUS settings (WSUSの設定に従う)
- Update program exclusion (除外する更新プログラムの指定)
 - KB number designation: Below KB numbers are not applicable (KB番号で指定：以下のKB番号の更新プログラムは適用しない)
 - KB numbers table:

KB番号	追加(K)	削除(D)
KB3012973		
KB4023057		
 - Text designation: Name and below text are included in update program (文字列で指定：名前に以下の文字列を含んだ更新プログラムは適用)
 - Text list table:

文字列	追加(N)	削除(R)
Internet Explorer		
Service Pack		
Blind Desktop		

Buttons at the bottom of the dialog include 'Standard' (標準に戻す(S)), 'OK', and 'Cancel' (キャンセル).

POINT

- 毎月のWindows Updateを自動で更新！
- WSUS対応なのでドメイン運用にも対応！
- 実行タイミングを運用に合わせた設定可能！

アップデート連携に付随する設定

■ コマンド実行

保護設定
表示設定
アップデート連携

コマンドの設定

コマンドの設定

コマンド: D:\Test\auco.bat

オプション: /p=1

管理者として実行

終了するまで待機する タイムアウト [0 - 600 秒]: 77

クリア OK キャンセル

アップデート連携の実行前、実行後にコマンドを実行することが可能です。
サイレントインストールが可能なアプリケーションのインストールやアップデートに利用できます。

※再起動を伴うコマンドは使用できません。

■ コンソール下で実行

Windows Updateの設定

Windows Updateの更新処理を行う(W) 詳細(D)

アンチウイルスソフトウェアの設定

アンチウイルスソフトウェアの更新処理を行う(V)

ソフトウェア選択: Trend Micro Biz/Corp.

コマンドの設定

連携前コマンド: 設定

連携後コマンド: 設定

実行するタイミング

スケジュールで実行する

管理コンソール下で実行する

シャットダウン時に実行する

曜日: 水曜日 間隔: 1 週間

開始日: 2024/07/05 開始時刻: 18:00

制限時間: 2時間

前回開始されなかった場合は、起動時/ログオン時に開始(R)

アップデート連携終了後、シャットダウン(S)

遅延時間: 1 分 次回の予定日: ---

Plusオンプレミス/クラウド版では、管理コンソール上から任意のタイミングでアップデート連携を実行させることが可能です。

※ アップデート連携中は何度か再起動を伴います。

POINT

- アップデート連携中（保護OFF時）にコマンド実行させることが可能
- 実行タイミングを運用に合わせて自由に設定可能

HD革命/WinProtector Plus

集中管理機能

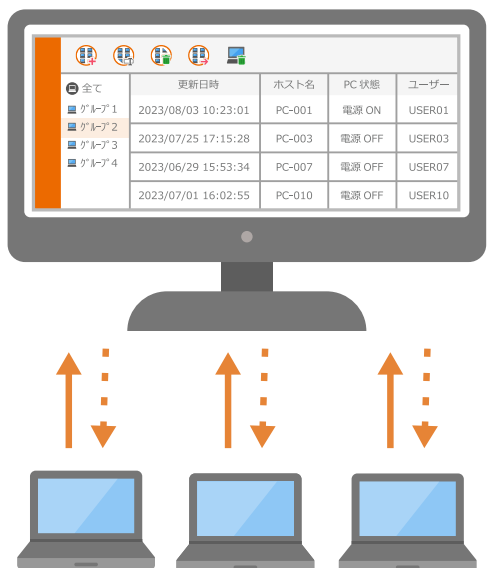
- 環境復元
- 電源管理
- コマンド実行
- 資料配布
- メッセージ送信
- デバイス制御
- データの自動バックアップ
- 抹消機能

対象製品

-Plus オンプレミス版

-Plus クラウド版

HD革命/WinProtector Plusは複数のクライアントPCを一括管理する「管理コンソール」をご提供します。
再起動/シャットダウンで使用前の状態に戻す「環境復元」等、様々な設定を簡単にクライアントPCに施すことが可能です。



- グループ管理
- 環境復元
- OS Windows Update
- パターンファイルの更新
- 電源操作
- 自動コピー機能
- スケジュール設定
- 資料配布/収集
- コマンド実行
- デバイスロック
- データ抹消
- クライアント情報収集

対象製品：HD革命/WinProtector Plus オンプレミス版
HD革命/WinProtector Plus クラウド版

こんな問題を
解決します

- ✓ PCトラブルを軽減し業務の生産性を向上させたい
- ✓ 遠隔地にあるPCも一括で管理したい
- ✓ 不特定多数が利用するPCの運用負担を軽減したい
- ✓ 手軽に安全なリモートワーク環境を実現したい
- ✓ 紛失・ウイルス感染による情報漏えいが心配

環境復元の保護開始/解除と パラメーターの設定

任意のクライアントPCを再起動/シャットダウン時に使用前の状態に戻す（PCの保護を行う）ことができます。また、環境復元機能のパラメーターの設定が可能です。

POINT PCをデータレス化したり、環境を固定することでセキュリティを強化



■ 保護対象の設定



「特定のドライブのみ保護する（セクター方式）」「個別のファイル・フォルダーを保護する（ファイル方式）」設定が可能です。

■ 表示項目や運用機能の設定



その他、ウィンドウの表示設定や、一時ファイル（保護中にドライブに対して書き込まれたデータを一時的に保存するためのもの）の設定等、環境復元時の運用に関わる様々なパラメーター設定が可能です。

クライアントPCの遠隔実行

クライアントPCに対して以下の操作を遠隔で実行することが可能です。

- ・電源管理（電源ON※/シャットダウン/再起動/ログオフ）
- ・コマンド実行
- ・資料配布 / 資料収集
- ・メッセージの送信



※電源ONはクライアントPCがWake On LAN 機能に対応しBroadCastが届くネットワーク内にあることが条件となります。

※電源ONはクラウド版は非対応となります。

■ コマンド実行

有効期限の設定
 オーダー開始から 10 分間 日時指定 2023-08-03 16:31 まで 期限なし

ファイル送信
 送信するファイル
 クライアントPC上の保存先 絶対パスで入力

実行するコマンド
 コマンドライン引数

管理者権限で実行 ユーザー権限で実行

クライアントPCをコマンドラインで操作します。ファイルを送信してそのファイルを実行することも可能です。

POINT

クライアントPCへアップデートを配布し遠隔アップデートすることが可能

■ 資料配布/収集

オーダー開始から 10 分間 日時指定 2023-09-07 12:07 まで 期限なし

送信するファイル

クライアントPC上の保存先 絶対パスで入力

ファイルを配布/収集します。収集するファイルは、FTP サーバーにアップロード/保存されます。フォルダーを収集した場合は、指定フォルダー直下の全てのファイルがアップロード対象となります。

■ メッセージ送信

有効期限の設定
 オーダー開始から 10 分間 日時指定 2023-09-27 16:19 まで 期限なし

送信するメッセージ
 ここに入力した文字がクライアントPCに表示されます。

待ち時間 (秒) : 60

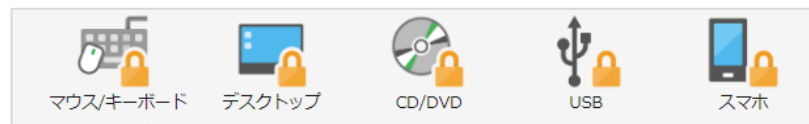
メッセージ

送信したメッセージは、クライアントPCにメッセージウィンドウで表示されます。

クライアントPCに接続されたデバイスを制御

[制御対象]

- ・ マウス/キーボード
- ・ デスクトップの画面ロック
- ・ CD/DVD、USB
- ・ スマートフォン (iPhoneには対応していません)



POINT

リモートワークのPCもリアルタイムに制御が可能

USBデバイスのアクセス制御
✕

USBデバイスのアクセス制御

アクセス拒否 (読み書き禁止)

リードオンリー (書き込み禁止)

フルアクセス (読み書き可能)

アクセス制御に影響を受けない (許可する) デバイスの設定

Vid	Pid	シリアルナンバー	
<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>

メッセージ送信

■ USBデバイス制御について

特定のUSB デバイスのみアクセスを許可したい場合は、Vid (ベンダーID)、Pid (プロダクトID) を直接指定することで例外処理を行うことができます。

シリアルナンバーを追加することで、アクセスを許可するUSB デバイスを限定することができます。

許可するUSBデバイスの設定数は最大で16 となります。

■ SDカード制御について

USBデバイス制御と連動してRemovable Diskも制御可能です。一般的にSDカードは「RemovableDisk」と判断されるため、SDカードも制御可能ですが、内部デバイスとして一般のHDDと認識する可能性がある為、お客様環境で動作検証などを実施する必要があります。

保存したいデータをPC以外の指定場所へ自動コピー

ファイル・フォルダーのコピー（バックアップ）、ミラーリングを行います。

スケジュール設定や保存方法を変更することで、柔軟な運用が可能です。

[設定手順]

タスク設定（作成）>タスクの編集>設定送信（クライアントへ）>コピーの実行
※複数のタスクを作成することも可能です。



POINT

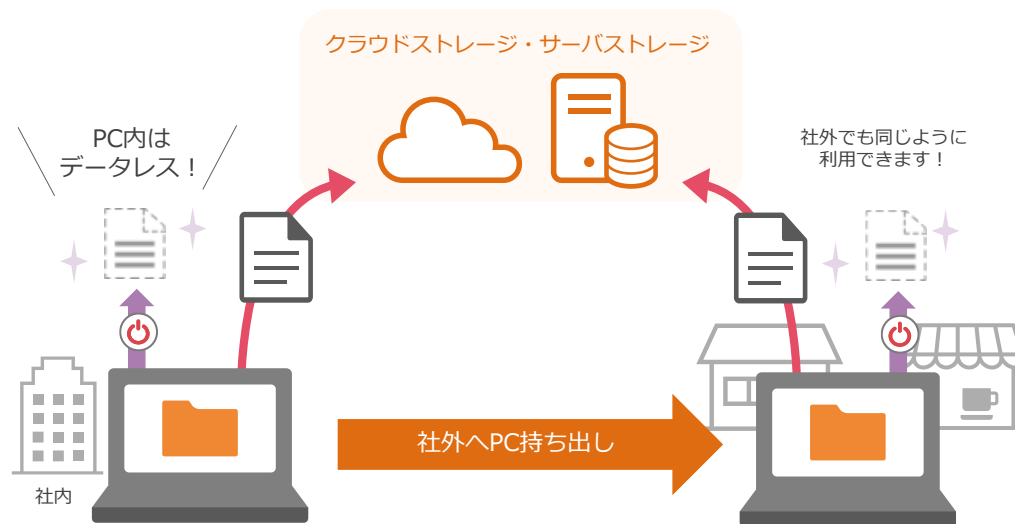
保存し忘れて、データが消えてしまうのを未然に防止

■ハイブリッドワークでの運用例

- ☑ データ保存用フォルダにあるデータは、指定のクラウド/サーバストレージに自動コピー
- ☑ 再起動でPC内のデータは無かったことに！

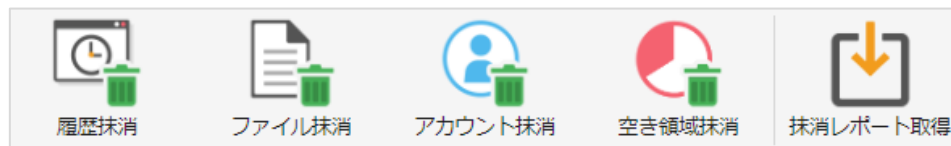


端末内に個人情報や機密情報が残らないので漏えいリスクはグッと下がります！



履歴抹消、ファイル抹消、アカウント抹消、空き領域抹消ができます。

POINT ドメイン環境のユーザーアカウントも遠隔で抹消



■ ファイル/フォルダーの抹消

ファイル/フォルダーの抹消

有効期限の設定
 オーター開始から 分間 日時指定 まで 期限なし

抹消対象のファイル/フォルダー

絶対パスで入力 追加 削除

選択されたフォルダー自身も抹消する

抹消方式

- 0(ゼロ)で抹消
- 乱数値で抹消
- NCSC方式
- 米国陸軍方式
- 米国海軍方式(AAM)
- 米国国防総省方式
- NATO方式
- グートマン方式

抹消レポート取得（抹消レポートはFTPサーバーに保存されます）

メッセージ送信

スケジュール設定

バッチに追加
実行
キャンセル

8段階の強力な抹消方式で不要なデータの痕跡を抹消します。

■ データ抹消レポート取得

抹消レポートのダウンロード

ファイル一覧		ダウンロード
ホスト名	ファイル名	サイズ(bytes)
ark-pc000		
ark-pc001		
ark-pc005		
ark-pc015		

更新
閉じる

データ抹消の各操作画面で「抹消レポート取得」にチェックを入れるとFTPサーバーに抹消レポートが保存され、ダウンロードできます。

HD革命/WinProtector Plus モニタリングオプション

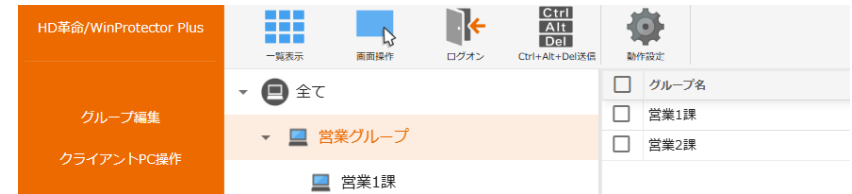
機能説明

- モニタリング
- 操作介入
- 遠隔ログオン/ログオフ

対象製品

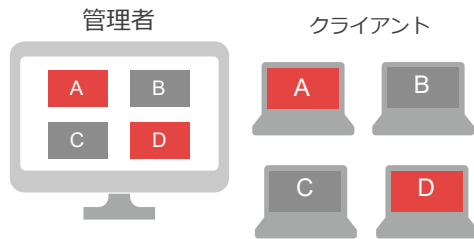
-Plus オンプレミス版

モニタリングオプションは「HD革命/WinProtector Plus オンプレミス版」専用のオプション機能です。別途ご購入が必要になります。クライアントPC画面の一覧表示や、特定PCの操作介入が可能になります。



■ モニタリング

管理者のPC（管理コンソール）からクライアントPC画面を一覧表示します。



■ 操作介入

管理者のPCから特定のユーザーを選択し、リモートでの操作介入が可能です。



■ 遠隔ログオン

管理者のPCからクライアントPCに対し、ログオンの操作を遠隔で行うことが可能です。



[設定]

動作設定 管理用PCとクライアントPCで通信を行う際に使用するポート番号の変更が行えます。その他、リモート操作時の画面縮尺率画像品質、更新間隔等の調整が可能です。

状態確認 管理用PCとクライアントPCの通信が確立されているかのチェックを行います。ダイアログ表示により状態結果を表示します。

[注意]

※ HD革命/WinProtector Plus オンプレミス版でご利用可能ですが、クラウド環境には非対応です。

※ 同ネットワーク内での利用制限がありますのでご注意ください。

無料でご利用いただける体験版をご用意しております。

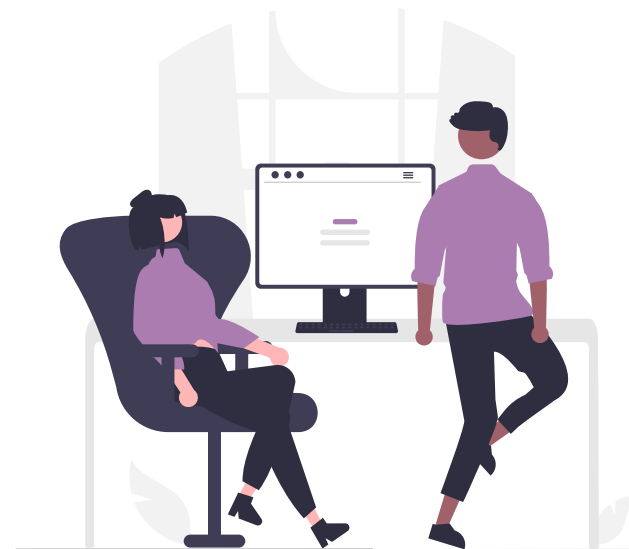
ご購入の検討にぜひご利用ください。

使用台数の制限はありませんので、何台のPCでもご利用いただけます。

【体験版試用期間】

- HD革命/WinProtector Ver.11 Standard…30日間
- HD革命/WinProtector Plus オンプレミス版…30日間
- HD革命/WinProtector Plus Plusクラウド版…20日間

インストールしていただいてから試用期間分ご利用いただけますが、試用期間が経過するとソフトの起動が行えなくなります。また、Windows起動時からドライブの保護を行っている場合は保護が解除されます。



体験版はこちらから <https://www.winprotector.jp/trial>

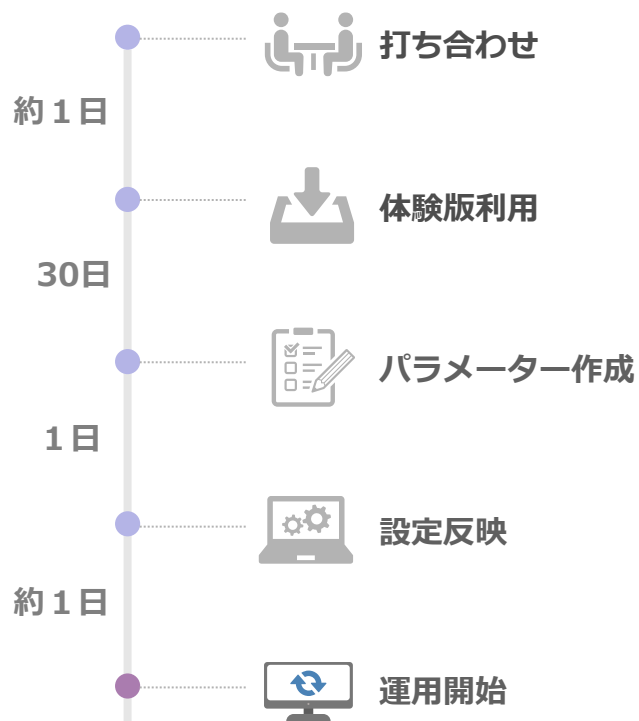
いずれのラインナップも、ご検討から約30日間で運用開始が可能です。

オンプレミス

HD革命/WinProtector Standard版

HD革命/WinProtector Plus オンプレミス版

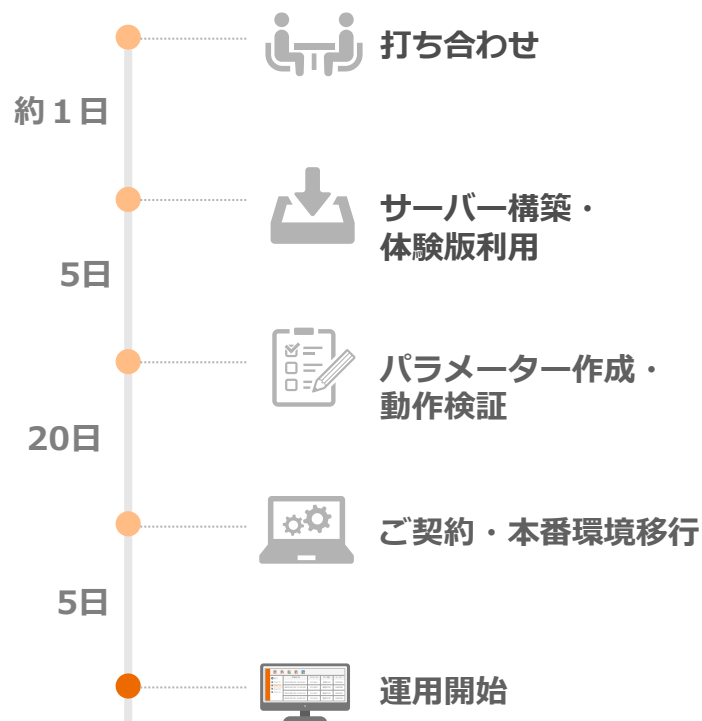
初回ポリシー設定をしてからご利用いただきます。さまざまな導入成功事例をもとに、お客様に適した設定をご提案致します。



SaaS

HD革命/WinProtector Plus クラウド版

ご検討の際は弊社へご連絡ください。打合せ後、評価環境を構築いたします。クライアントPCへのインストールやキッティング作業のご支援も可能ですのでお気軽にご相談ください。



機能一覧表		SaaS		
		Plus クラウド版	Plus オンプレ版	Standard
サーバー管理	実機の用意	不要	お客様	—
	構築	不要	お客様	—
	インストール	不要	お客様	—
	メンテナンス	不要	お客様	—
集中管理機能	クラウド環境に対応	○	○	×
	リモート操作（電源OFF/再起動/ログオン※1/ログオフ）	○	○	×
	Wake On LAN（電源ON※2）	×	○	×
	資料配布/収集	○	○	×
	マウス/キーボード/CD/DVD/USB制御	○	○	×
	ファイル/アカウント/空き領域/履歴（Windows、インターネット）抹消	○	○	×
	コマンド実行、バッチ操作	○	○	×
	アプリケーション※3のインストール/アップデート	○	○	×
	スケジュールによるリモート操作実行	○	○	×
	アプリケーション一覧確認	○	○	×
	モニタリング※1	×	○	×
	リモート操作介入※1	×	○	×
環境復元機能	BitLocker対応※4	○	○	○
	保護対象（ドライブ/ファイル/フォルダー）の選択※5	○	○	○
	Windows Update・アンチウイルスソフト定義ファイル更新連携※6	○	○	○
	除外する項目の設定※4	○	○	○
	Arm版、4Kn対応	○	○	○

- ※1 モニタリングオプション（別売）が必要です。モニタリングオプションはPlusクラウド版では非対応です。閉域環境のみ対応しています。
- ※2 WOLに対応したPC機種のみ対応です。
- ※3 サイレントインストール可能なアプリケーションに限ります。
- ※4 BitLocker以外の暗号化製品はサポート対象外となります。BitLockerが有効化された環境では「除外する項目の設定」は使用できません。
- ※5 複数のドライブを保護する場合、物理的に異なるドライブにまたがった設定はできません。（1つのPCにOSが2つ存在するような場合）同一ディスク上のドライブ（パーティション）は設定可能です。
- ※6 ドライブ/ファイル/フォルダー保護中のみ実行します。

クライアント (全ラインナップ共通)

対応OS	日本語版の以下に示すOS <ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 64bit版/Arm64版 ※大型Windows Updateへは順次対応しています。 ※サーバー系のOS には対応していません。 ※アドミニストレータ権限(管理者権限)が必要です。
コンピューター	上記のOSが稼働するコンピューター (PC/AT互換機のみ) ※ Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 : 64Bit版 4GB以上 ※8GB 以上のメモリを推奨します。 ※メモリ上に「一時ファイル」を設定する場合、保護を行うためのメモリとは別に、インデックス用としてドライブサイズに対して約1,000分の1のメモリ容量が必要です。
SSD/HDD	<ul style="list-style-type: none"> • Standard : 100MB以上の空き容量 • 4Kネイティブ(4Kn)ディスク対応 • Plusオンプレミス版/クラウド版 : 700MB以上の空き容量 (本製品のインストール用として)
対応ファイルシステム	FAT32、NTFS (FAT16、exFATには対応していません) ※ダイナミックディスクの環境では使用できません。 ※仮想ディスク (.VHD) をマウントしたドライブには対応していません。 ※Windows 11の「記憶域」で作成したディスクに対して保護を行うことは動作保証外となります。
その他	インターネット接続環境 ※アップデータのダウンロードなどで必要となります。

Plusオンプレミス版 管理コンソール

対応OS	日本語版の以下に示すOS <ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 64bit版/Arm64版 • Windows Server 2025/2022/2019 64bit版 ※大型Windows Updateへは順次対応しています。 ※アドミニストレータ権限(管理者権限)が必要です。
コンピューター	上記のOSが稼働するコンピューター (PC/AT互換機のみ) ※ Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 : 64Bit版 4GB以上 • Windows Server 2025/2022/2019 64bit版 4GB以上 ※64bit 版には 8GB 以上のメモリーを推奨します。
SSD/HDD	<ul style="list-style-type: none"> • 2GB以上の空き容量 (本製品のインストール用。その他にデータベースの保存領域が必要) • 4Kネイティブ(4Kn)ディスク対応
その他	※データベースサーバーとして SQL Server 2022/2019 Express Edition (システム要件を満たすこと) ※FTP サーバーとして、Internet Information Service (IIS7 以上) ※管理 PC には「.NET5」 ※サーバー及びPCはお客様側でご用意が必要です。

Plusクラウド版 管理コンソール (オンプレミス版共通)

推奨WEBブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Edge (最新版) • Google Chrome (最新版)
通信ポート	HTTPS 443/TCP
通信制限オプション	各ポートに対し指定IPアドレスによる通信許可設定が行えます。 (サービス契約時に申請)

【クライアント側注意事項】

- 高速スタートアップには対応しておらず、有効時の動作は保証はできません。
- SSD(Solid State Drive)上のドライブを保護するには、Trim機能をオフにする必要があります。
- Windows HomeエディションではWindows Updateの自動更新をOFFにすることはできません。WinProtectorのアップデート連携を活用することで、常に最新の状態でご利用いただけます。
- HD革命/WinProtectorでドライブの保護を行っている間は「ディスクデフラグ」や、それと同様の機能を持つディスク最適化ソフトウェアによる最適化は行わないでください。
- マルチブートなどの環境で、OSの起動に関わるファイルが、保護されているドライブ以外にある場合は、そのファイルは保護されていないためにファイルの破損・変更があるとOSの起動ができなくなります。
- ドライブを保護中にコンピューターをリセットした場合や、一時ファイルが限界値に達して再起動した場合、保護中に変更されたデータは破棄されてしまいます。

【管理コンソール側注意事項】

- Windowsの休止状態/サスペンド、スタンバイ/スリープなどになると正しく動作しない場合があります。管理対象のPCは、電源管理（電源オプション）で「コンピューターをスリープ状態にする。」は「なし」としてください。
- 異なるサブネット間で管理する場合は、サブネット間にあるルータで利用する通信ポートの送受信を許可してください。デフォルト値は、10001, 10002番ですが別の番号での運用も可能です。その他、FTP サーバー（21 番）、SQLServer（1433番）の送受信の許可が必要です。
- スケジュール実行は、Windows タスクスケジューラで行っています。1 度しか実行しない場合もWindows タスクスケジューラに登録されています。これらは、「ツール」→「作業履歴」と選択し、「オーダー一覧」に登録されたオーダーを選択し「履歴から削除」で削除することが可能です。
- Windows 10/11 (Home / Pro / Enterprise などのクライアントOS)に管理コンソールを構築されている場合、FTPサーバー接続セッション数の上限があるため、20台以上の端末に対して同時に資料配布ができません。グループを分け20台配布してください。サーバーOSの場合、上記の制限はありません。

【問い合わせ先／販売元】



イーディーコントライブ株式会社

営業推進部 HD革命/WinProtector 担当

TEL : 東日本エリア … 03-6238-3501
西日本エリア … 06-6838-3177
※ 平日10:00-18:00

E-mail : WinProtector-info@ed-contrive.co.jp

Web : <https://www.winprotector.jp/>

【会社概要】

名称 : イーディーコントライブ株式会社
本社住所 : 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3 飛栄九段北ビル6階
設立 : 2006年10月2日
資本金 : 9,900万円
従業員数 : 17名 (2024年1月1日現在)
代表取締役社長 : 尾上 昌隆
URL : <http://www.ed-contrive.co.jp/>

【開発元】

名称 : 株式会社アーク情報システム
<https://www.ark-info-sys.co.jp/>